

石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

日時

平成23年11月15日(火) 19:00～20:35

会場

遊楽館 大会議室

参加者数

約120名

主なご意見

災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
女川原発運転再開に対する考えは。	調査中である原発の安全評価、福島を検証結果を踏まえ、東北電力の安全対策などを総合的に判断し、慎重に対応していきたい。
堤防高などについて、東松島市と石巻市の計画の関連性は。	東松島市との調整会議において、防潮堤の高さなど調整を行っている。
河川堤防の整備により、浸水範囲ほどの程度になるか。	比較的頻度の高い津波（明治・三陸沖地震やチリ地震クラスの津波）は完全に防ぐ。今回のような津波は、越えてしまう区間があるが、堤防により、浸水範囲は小さくなる。【回答；北上川下流河川事務所長】
中浦地区の土地利用について指針がいつ確定するのか。	現在、中浦地区は準工業地域（住居と工場が混在している地域）。高盛土道路の前面に工業系、背後に住居系を配置することを基本として住民の意向を聞きながら、準工業地域を残すべきか、居住専用地域とするか各地区の方と意見交換会をして整理していきたい。今年度末頃には、意見をまとめたい。
土地区画整備事業の手法は。	6mに満たない道路の拡幅や、住宅密集地域の整備などを組み合わせて行う計画である。地権者説明会で詳しく話したい。
高盛土道路の幅は何mか。	TP5mで4車線道路の場合、幅50～60mの用地が必要と考えている。
南浜町と日和山の間（門脇小学校のある区域）は、居住可能か。	居住可能である。高盛土道路の防御により住居を守り、通常の区画整理事業をしたいと考えている。
南浜地区の土地について、代替地が提供されるのか、買取になるのか。	南浜地区はシンボル公園と位置づけている。公共事業で行うので、代替地とするか、買取するか、今後、皆さんと相談の上、決めていきたい。
新市街地として河南地区も土地区画整理事業考えてほしい。	被災した移転対象者は沿岸部の方が多く、そこからあまり遠くないところを考えている。今後、河南地区に住みたいという方がいれば、ご相談したい。
計画では居住地域になっているが、津波を経験し同じ所に住みたくない方の新市街地への移転等を行う考えは。	新市街地への移転は非可住地域、工業エリアとなる方々を対象に考えており、居住地域の方の移転等は考えていない。

質問・意見	回答
産業系としている地区に、企業は来るのか。	確かに誘致は厳しいが、土地の利活用を図っていきたいと考えている。
産業系のエリアの農地は買い上げるのか。	買い上げる方向で検討している。
地権者に対する説明会の周知について、連絡がつかないような方への対応は。	被災前住所（8割以上が転送届けを出している）へ連絡している。市全体では100～200名程度の方の転送先がわからず、連絡取れない方には別途対応を考えている。

【要望】

- ・市民運動公園地区を防災拠点として早急に整備していただきたい。

市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
牡鹿半島の方が安心して暮らせるためにも市立病院を渡波(根岸)地区に建てていただきたい。	建設場所については、検討中。東西のバランスを考えて進める。

未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
震災復興特区活用とは。	国会審議中の震災復興特区法案における3つの特例 ①復興を推進するための税制の特例 ②各種土地利用規制の緩和・手続簡素化の特例 ③区画整理、復興の公営住宅など5省40事業の補助事業をまとめた交付金の活用を図ること。
湊小学校、湊第二小学校、湊中学校の学校再開計画は。	11月1日から、学校の現状と今後の方向性の説明を保護者対象に行った。今後は、在校保護者だけでなく地域の皆様の意見をいただき、教育委員会で最終的な案を作成していく。
新産業とはどのような産業をいうのか。	既存産業とは違った新しい産業、例えば植物工場や、微細藻類を活用した医薬品開発、バイオマスや、太陽光発電などの新エネルギーなどを考えている。

【要望】

- ・学校の場所について説明がないと住むか住まないか決められない。アンケートを実施し意見を反映していただきたい。
- ・子供たちがのびのびとスポーツをし、遊べるグラウンドを復旧していただきたい。
- ・企業誘致に関して、コールセンター進出のニュースがあったが、今後もエリアフリー型の省スペースで行える企業誘致は可能性があると思うので、積極的に進めていただきたい。